

# MOOCとOCWって何だろう？

～オープンエデュケーション教材の強みと課題～

Created by 佐野真途, Y.M., 金井貴広  
(チーム だんご3兄弟)



# もくじ

Part0 はじめに／事前テスト

Part1 MOOC・OCWの概要

- 1-1 オープンエデュケーションって何だろう？
- 1-2 MOOC・OCWって何だろう？
- 1-3 確認テスト

Part2 MOOC・OCWの強みと課題

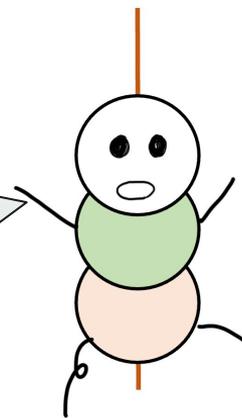
- 2-1 MOOC・OCWの強みと課題を整理しよう
- 2-2 確認テスト

事後テスト

参考文献

3パート+「事後テスト」の  
積み上げ式で学びます！

最後の事後テストでの  
全問正解めざして頑張ろう！

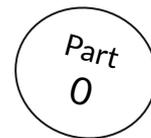


一緒に学んでいく  
「だんごさん」



## 【Part0】はじめに...

この教材で学んでいく内容と目標を確認します。



# こんなサービスを知っていますか？



## MOOC

(Massive Open Online Course)

UTokyo MOOC

(<https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/top>)

JMOOC

(<http://www.jmooc.jp/>)

などなど...

## OCW

(Open Course Ware)

UTokyo OCW

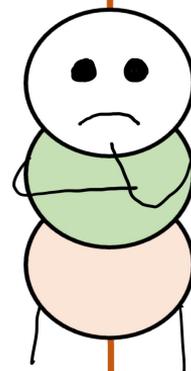
(<https://ocw.u-tokyo.ac.jp>)

京都大学OCW

(<https://ocw.kyoto-u.ac.jp/>)

などなど...

どちらも「オープン  
エデュケーション」  
の教材だよ！



- MOOCやOCWには**学び手・教え手**どちらの目線でも**メリット**、**デメリット**が挙げられます。
- ここでわからなくても、この教材を進めるうちに分かってくるので心配は要りません！
- 右の表を既に完璧に埋められる！という人は是非より発展的な教材に挑戦してみましょう。

メリット	MOOC	OCW
学び手目線		
教え手目線		

デメリット	MOOC	OCW
学び手目線		
教え手目線		



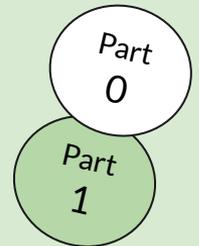
## この教材を終えると...

- ① **MOOC**と**OCW**の概要(定義や事例)を説明できるようになる！
- ② **MOOC**と**OCW**について、それぞれ大学・個人にとってどのようなメリットやデメリットがあるかを説明できるようになる！

## 【Part1】MOOC・OCWの概要

Part1では始めに、「オープンエデュケーション」とは何かを説明します。

その後、オープンエデュケーションの事例である、**MOOC**、**OCW**という取り組みについて紹介します。



はじめに...「オープンエデュケーション」にどのようなイメージを持っていますか？



考えてみよう！！



## 1-1 オープンエデュケーションって何だろう？

「オープンエデュケーションとは、教育のオープン化を意味します。」

「近年では、インターネットのような情報通信技術を活用し、より多くの人に教育機会を提供する活動を指す概念となっています。」

(北海道大学オープンエデュケーションセンター[https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/top/about\\_the\\_center/summary.html](https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/top/about_the_center/summary.html))

つまり「**オープンエデュケーション**」とは、インターネットを通じて教育リソースを社会に幅広く公開し、学習機会を提供する取り組みのことを言います。



## 1-1 オープンエデュケーションって何だろう？

オープンエデュケーションは以下の3分野からなります。(飯吉, 2010)

- オープン・コンテンツ

講義資料、講義動画などの学習教材

- オープン・ナレッジ

授業の方法、カリキュラムといった教育的知識や経験

- オープン・テクノロジー

学習管理システム(LMS)などの教育ツール

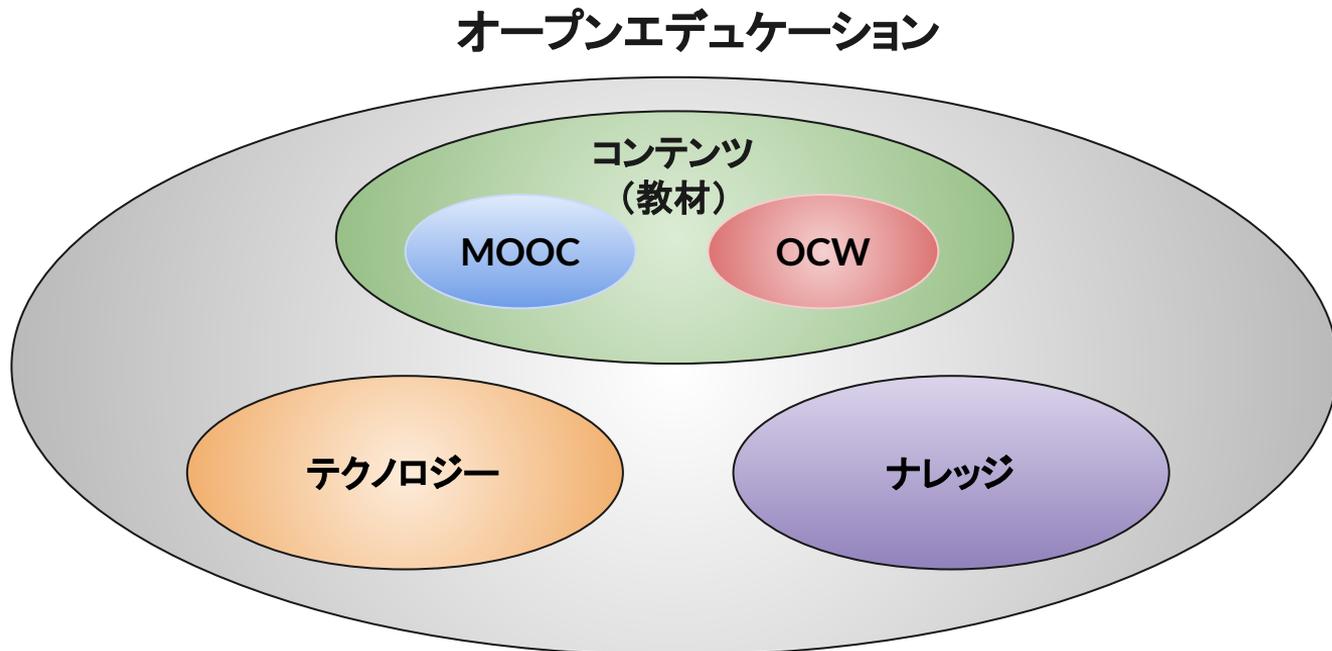
## 1-1 オープンエデュケーションの種類



これから紹介するMOOCとOCWは、「オープンコンテンツ」の事例の一つだよ！

これらの3分野を図式化すると、右図のようになります。

一口に「オープンエデュケーション」と言っても、様々な側面があることに注意しましょう。





## 1-2 MOOCとOCWって何だろう？

これからは、オープン化された教材の例としてMOOC, OCWを紹介します。

- **MOOC** (Massive Open Online Course)

インターネット上で公開された、大学を始めとする高等教育機関等の講座を、誰もが無償で受講でき、且つ講座終了時には修了証も取得出来る(取得条件※あり)教育サービス。ただし、有償でのみ受けられるサービスもあります。( <https://www.jmooc.jp/faq/users-support/> )

(※取得条件・・・例えば、一定以上の成績を修める、など)

- **OCW** (Open Course Ware)

大学等で正規に提供された講義やその関連情報をインターネットで無償公開する、という活動。

( <https://ocw.u-tokyo.ac.jp/about/> )

## 1-2 MOOCとOCWって何だろう？



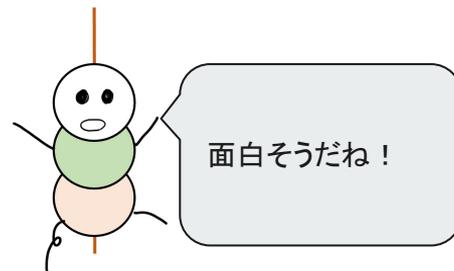
使ってみよう！

それでは、MOOCやOCWについてさらに理解を深めるため、実際にこれらのサービスにアクセスしてみましょう。ここでは、東京大学が運営しているUTokyo OCWを利用します。UTokyo OCW→<https://ocw.u-tokyo.ac.jp/>



まず、UTokyo OCWにアクセスすると、左のようなページが表示されます。学びたい分野のキーワードを検索してみましょう。ここでは「物理学」で検索します。(<https://ocw.u-tokyo.ac.jp/>)

## 1-2 MOOCとOCWって何だろう？



検索結果が表示されました。  
気になる講義を覗いてみましょう。  
(<https://ocw.u-tokyo.ac.jp/lecture-search/?q=%E7%89%A9%E7%90%86%E5%AD%A6>)



このページから講義動画が閲覧できます。  
授業資料を参照したり、関連する講義を探したりすることもできます。  
([https://ocw.u-tokyo.ac.jp/lecture\\_1598/](https://ocw.u-tokyo.ac.jp/lecture_1598/))

## 1-3 確認テスト

[問題] 以下の文章の空欄を埋めよう。

オープンエデュケーションとは、(1)を通じて教育リソースを社会に幅広く公開し、教育機会を促進する取り組みである。オープンエデュケーションは、(2)(3)(4)の3分野からなる。

大学等で正規に提供された講義をインターネットで閲覧できるサービスを(5)と言う。一方、講義を見るだけでなく、試験等をクリアすることで修了証も取得できるサービスが(6)である。

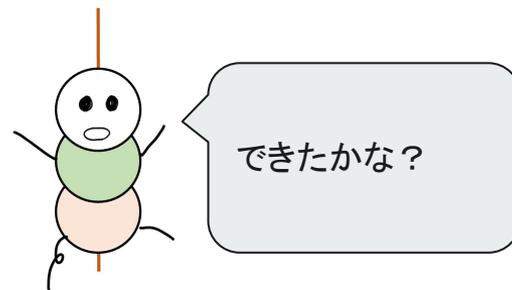
(5)や(6)は、オープンエデュケーションの(2)の事例の一つである。



## 1-3 確認テスト

[解答]

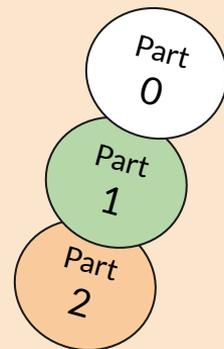
- (1) インターネット
- (2) (オープン)コンテンツ
- (3) (オープン)ナレッジ
- (4) (オープン)テクノロジー
- ※(3)(4)は順不同
- (5) OCW
- (6) MOOC



## 【Part2】MOOC・OCWの強みと課題

Part1では、オープンエデュケーションと、その教材の種類であるMOOCやOCWとは何かを確認しました。

Part2では、MOOCとOCWの**強みと課題**を整理することで、今後の方針を探っていきます。



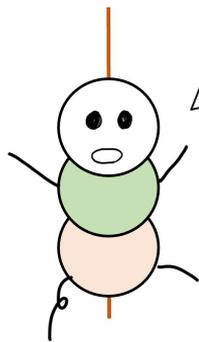
## 2-1 MOOC・OCWの強みと課題を整理しよう

### 【着目する観点】

- ① **学び手**は**学びやすい**？
- ② **教え手**は**教えやすい**？
- ③ **学び手**と**教え手**が**双方向**にやりとりできる？
- ④ **学び手**・**教え手**の**目線**で**社会**にどう役立つ？

UTokyo MOOCと  
UTokyo OCWを想定し、各  
観点のポイントを  
確認していきます。  
(UTokyo MOOC, UTokyo OCWの関連  
ウェブページを参考に独自に作成)

## ① 学び手は学びやすい？



MOOCもOCWも難しい登録は不要だけど、MOOCの方が少し大変だよ。

### 【共通の強み・課題】

- 時間や場所を問わずに、自分のペースで学べる。
- 教材含め、基本的に無料。
- 大学の予復習に活用できる可能性。

### 【MOOCとOCW、ここが違う】

- OCWは誰でも申し込み無しで閲覧できる。
- ▲ MOOCはメールアドレス、グーグルアカウント、Facebookアカウントで簡単な登録が必要。

### 【その他】

- MOOCは知識の定着をはかるクイズが付随している。

## ② 教手は教えやすい？



どちらも大学の担当者がサポートしているんだね。  
でもMOOCの方が手が込んでいると言えそう...

### 【共通の強み・課題】

- 企画段階から大学の担当ユニットの専門スタッフが伴走する。
- ✕ 著作権の問題をクリアするため、制作に時間がかかる。

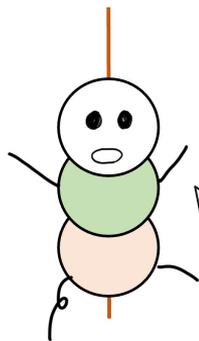
### 【MOOCとOCW、ここが違う】

- OCWは普通の授業と同様のノリで講義ができる。
- ✕ MOOCは復習や成績評価のためのクイズを作成する時間的コストがかかる。

### 【その他】

- MOOCは大学での授業の事前事後学習用教材や、宿題の一つとしても使える。

### ③ 学び手と教え手が双方向にやりとりできる？



MOOCは学習者と大学のインタラクションが多いね。

でも単位の認定はないという点で、東大ではキャンパスでの教育にはまだ及ばないかも

…。

#### 【共通の強み・課題】

✕単位の発行はない。

#### 【MOOCとOCW、ここが違う】

○MOOCはレポートのような記述式課題が科される講座もあり、学習者同士が評価を行う仕組みもある。

✕OCWは一方向的に授業を見るだけ。

#### 【その他】

○MOOCは料金を払えば修了証の発行もある。

## ④ 学び手・教え手の 目線で社会にどう役立つ？



大学の学びと社会の結びつきが強まる今日、オープンエデュケーションの理念・システムを社会にどう根付かせていくかを考える必要がありそうだね。

### 【共通の強み・課題】

#### < 学び手目線 >

- 進学を検討する大学や学部で学べる内容について事前に知ることができる。
- 非営利・教育目的など一定の制限の下で再配布等ができる(主にOCW、サービスによる)。
- 大学を出た後の学び直しの一環で利用すると、学間を社会に還元しやすい。

#### < 教え手目線 >

- ✕ そもそも認知度があまり高くない。
- ✕ スタッフのための人件費をまかなえるだけの収益化のモデルができていない。
- 大学内外の多くの人に講義を届けられる。業績・社会貢献になる。

## 2-2 確認テスト

分からなかったらスライドを戻って考えよう！



[問題] 以下のそれぞれの {} で適切なものを選ぼう。

UTokyo MOOCもUTokyo OCWも、時間や場所を問わずに利用できる。また、{① 無償で・有償でのみ}利用できる。MOOCは登録が{② 必要・不要}、OCWは登録が{③ 必要・不要}だが、どちらも手軽に大学の講義にアクセスできるのが魅力になっている。一方、教材作成者の視点では{④ 講義する教員の肖像権・利用された著作物の権利}の処理などが大変である。また、{⑤ MOOC・OCW}は成績評価などのためのクイズの作成を行う必要がある。

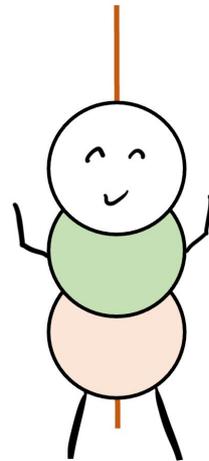
コースの一環として学習者が質問できるシステムも整っている{⑥ MOOC・OCW}では、有料で修了書の発行を行うこともできる。このような MOOC・OCWの社会的な意義付けや、{⑦ 認知度・好感度}の向上が今後の課題だ。

## 2-2 確認テスト

[解答]

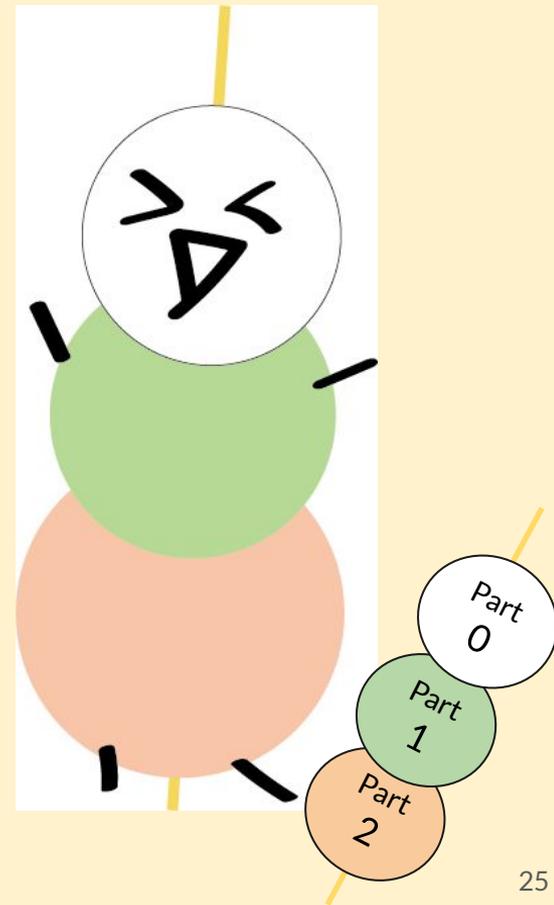
- ① 無償で
- ② 必要
- ③ 不要
- ④ 利用された著作物の権利
- ⑤ MOOC
- ⑥ MOOC
- ⑦ 認知度

これで学習パートは  
おしまい！  
残るは事後テスト!!



## 【事後テスト】最後の確認！

ここまでの内容を確認してみよう！



# Q. 以下を分類してみよう！

(重複選択も可)

- ・社会貢献につながる。
- ・大学での授業の事前事後学習用教材や、宿題の一つとしても使える。
- ・一方向の講義。
- ・修了証が発行される。
- ・認知度が低い。
- ・メールアドレスなどの登録が必要。
- ・双方向型。
- ・どこでも学べる。
- ・非営利・教育目的なら再配布等ができることがある。
- ・業績・記録として示せる。
- ・誰でも申し込みなしで閲覧できる。
- ・著作権の問題をクリアするため、制作に時間がかかる。

メリット	MOOC	OCW
学び手 目線		
教え手 目線		

デメリット	MOOC	OCW
学び手 目線		
教え手 目線		

# A. 以下を分類してみよう！

(重複選択も可)

メリット	MOOC	OCW
学び手目線	<ul style="list-style-type: none"><li>・どこでも学べる。 &gt;&gt;19ページ</li><li>・双方向型。 &gt;&gt;21ページ</li><li>・修了証が発行される。 &gt;&gt;19ページ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・どこでも学べる。 &gt;&gt;19ページ</li><li>・誰でも申し込みなしで閲覧できる。 &gt;&gt;19ページ</li><li>・非営利・教育目的なら再配布等ができることがある。 &gt;&gt;22ページ</li></ul>
教え手目線	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学での授業の事前事後学習用教材や、宿題の一つとしても使える。 &gt;&gt;20ページ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会貢献につながる。 &gt;&gt;22ページ</li><li>・業績・記録として示せる。 &gt;&gt;22ページ</li></ul>

デメリット	MOOC	OCW
学び手目線	<ul style="list-style-type: none"><li>・メールアドレスなどの登録が必要。 &gt;&gt;19ページ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一方向の講義。 &gt;&gt;21ページ</li></ul>
教え手目線	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知度が低い。 &gt;&gt;22ページ</li><li>・著作権の問題をクリアするため、制作に時間がかかる。 &gt;&gt;20ページ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知度が低い。 &gt;&gt;22ページ</li><li>・著作権の問題をクリアするため、制作に時間がかかる。 &gt;&gt;20ページ</li></ul>

<http://www.jmooc.jp/>  
JMOOC

さいごに...

今まで大学内部にとどまっていた学びの機会が社会に開かれる現在。  
あなたはこれからの社会での学びの在り方をどう考えますか？

<https://ocw.kyoto-u.ac.jp/>  
京都大学OCW

<https://www.edx.org/>  
edX

<https://www.coursera.org/>  
coursera

## 参考文献

リンクはいずれも最終閲覧2024年1月14日

- 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会、NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社「大学のオープン化に関する調査結果(2018年)～学び直しのニーズがじんわり上昇中 -MOOCは多様化する学習に効果的-～」2018年11月27日  
<https://files.jmooc.jp/wp-content/uploads/2018%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%AE%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%95%E3%82%9A%E3%83%B3%E5%8C%96%E8%AA%BF%E6%9F%BB-2.pdf>
- 飯吉透「高等教育2.0:知識基盤社会とオープンエデュケーション」『メディア教育研究 第7巻 第1号 *Journal of Multimedia Education Research 2010*』, Vol.7, No.1, S1-S8、2010年  
[https://www.code.ouj.ac.jp/media/pdf/vol7no1\\_shotai1\\_071.pdf](https://www.code.ouj.ac.jp/media/pdf/vol7no1_shotai1_071.pdf)
- 京都大学 OCWホームページ <https://ocw.kyoto-u.ac.jp/>
- 「根付くか 日本版MOOC」『朝日新聞』2015年2月27日朝刊
- 北海道大学オープンエデュケーションセンター「オープンエデュケーションとは」.  
[https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/top/about\\_the\\_center/summary.html](https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/top/about_the_center/summary.html)
- courseraホームページ. <https://www.coursera.org/>
- edX ホームページ. <https://www.edx.org/>
- JMOOCホームページ. <http://www.jmooc.jp/>
- JMOOC「JMOOCについて」. <https://www.jmooc.jp/faq/users-support/>

## 参考文献

リンクはいずれも最終閲覧2024年1月14日

- UTokyo OCWホームページ. <https://ocw.u-tokyo.ac.jp/>
- UTokyo OCW「UTokyo Online Education 利用条件」2016年4月1日制定.  
[https://ocw.u-tokyo.ac.jp/pdf/Terms-of-Use\\_ja.pdf](https://ocw.u-tokyo.ac.jp/pdf/Terms-of-Use_ja.pdf)
- UTokyo OCW「UTokyo OCWで講義を公開希望の先生へ」<https://ocw.u-tokyo.ac.jp/for-lecturer/>
- UTokyo OCW「UTokyo OCWについて」. <https://ocw.u-tokyo.ac.jp/about/>
- UTokyo OCW「UTokyo OCWを活用しませんか」.  
<https://ocw.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/UTokyo-OCW%E3%82%92%E6%B4%BB%E7%94%A8%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%9B%E3%82%93%E3%81%8B.pdf>
- UTokyo MOOC「開講前の準備」. <https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/partners/preparation>
- UTokyo MOOC「活用方法」. <https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/learners/benefit>
- UTokyo MOOC「授業との違い」. <https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/learners/mooc-vs-traditional>
- UTokyo MOOC「受講方法」. <https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/learners/register>
- UTokyo MOOC「質問対応」. <https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/learners/feedback>
- UTokyo MOOC「MOOCの概要」. <https://mooc.he.u-tokyo.ac.jp/ja/about/overview>